

目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 STOP新型コロナ
- 4 市制施行50周年記念事業
ガラピコぶ〜小劇場
完成！思い出の交差点裾野市オリジナルver.
- 6 富士山ネットワーク会議広報研究会
共通紙面
富士山と、自転車と、旅に出る
- 8 10月24日(日)は参議院静岡県選出議員補欠選挙投票日
- 10 結核は今でも日本最大級の感染症
- 11 水道メーター定期交換
森林の誤伐採や盗伐に注意
- 12 フォトグラフ
- 14 インフォメーション
- 19 救急協力医
- 21 図書館だより
- 22 裾野っ子・すこやかタウン

表紙 Front cover



稲刈りの様子を上空から

今年も新米の季節となりました。8月27日(金)、秋の気配が徐々に感じられる中、深良地区のほ場整備の終わった田んぼでは、金色に実をつけたコシヒカリの稲刈りが行われていました。

(写真提供：廣瀬 篤さん)



陸上競技2種目で県マスターズ記録を更新

山中嶋 秀和さん (47歳・深良新田)

市内の陸上クラブ (STFC) で中学生たちのコーチをしながら、自らも練習に励む山中嶋さん。7月22日(木)に開催された第41回山梨マスターズ陸上競技選手権大会で、M45クラスの800m、1,500mの2種目で大会新記録を出して優勝。静岡県の記録も更新しました。「大人になると、諦めたり怠けてしまったりすることがありますが、子どもたちが純粋に練習に励んでいる姿を見ると、自分も力をもらえます。会社の陸上クラブに所属していたときもありますが、歳を重ねるごとに新たな目標ができるようになりました」と今までを振り返ります。

「コロナの影響で参加できる大会が少なくなっていますが、その分一つひとつの大会に集中して臨めるようになりました」と山中嶋さん。現在は、12月4日(土)に開催されるしずおか市町対抗駅伝出場に向けて調整を続けています。過去の大会でたすきをつないだ仲間が成長し、箱根駅伝に出場した姿を見たときは、非常に感慨深いものがあったといいます。

「子どものころ、練習でいつも並走してくれた先生のことを今でも大変尊敬しています。指導者としては、市の陸上クラブから県大会、全国大会、箱根駅伝などで活躍する選手を育てたいです。競技者としては、残りの3,000m、5,000mの記録更新に挑戦したいです」と2つの目標を語ってくれた山中嶋さん。挑戦は続きます。



susonobito No.31